

北海道浮魚ニュース

令和 6(2024)年度 3 号

2024 年 5 月 29 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ

https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiyo_news.html

◎5 月浮魚類分布調査

道東の調査範囲内に浮魚の反応は見られず 道南海域に分布している可能性あり

ロシア主張 200 海里内でのさけ・ます流し網漁業の代替として始まったサバ・イワシ棒受網漁業へ漁場情報を提供するための調査を実施したのでお知らせします。

- ・ 調査期間：2024 年 5 月 9～16 日
- ・ 調査方法：計量魚群探知機による魚探反応量の計測
CTD, XCTD による海洋観測
NEAR-GOOS*表面水温（5 月中旬）の解析
※NEAR-GOOS 地域リアルタイムデータベース
http://ds.data.jma.go.jp/gmd/goos/data/rtrdb/data_usage_J.html
- ・ 調査海域：道東太平洋海域

1. 水温分布（図 1）

調査海域北西側は親潮に、南東側は黒潮系北上暖水に覆われており、表面水温 7～10℃の等温線が北東から南西方向に伸びていました。

2. 計量魚探調査（図 1、図 2）

一平方マイル当たりの反応量（NASC）は最大でも 1,000m²/nmi²程度で、昨年および一昨年に確認された 10,000m²/nmi²を超えるような大きな反応は見られませんでした。

同時期に函館水産試験場所属の調査船金星丸により、渡島～胆振日高海域で実施された調査では、浮魚類と思われる魚探反応がみられました。また、5 月 19 日（日）に、日高管内えりも町のえりも港内にマイワシが確認されたことや、函館市南かやべ地区の定置網による漁獲が増えていることなどから、現時点でマイワシは渡島から胆振・日高の海域に多く分布していると推測されます。

今回の道東沖での浮魚類調査は 6 月中旬に実施する予定です（6 月浮魚類調査）。マイワシの分布に関する情報は、調査が終わり次第浮魚ニュースとして公表いたします。

3. 表層トロール調査

表層トロールによる漁獲調査は実施しませんでした。

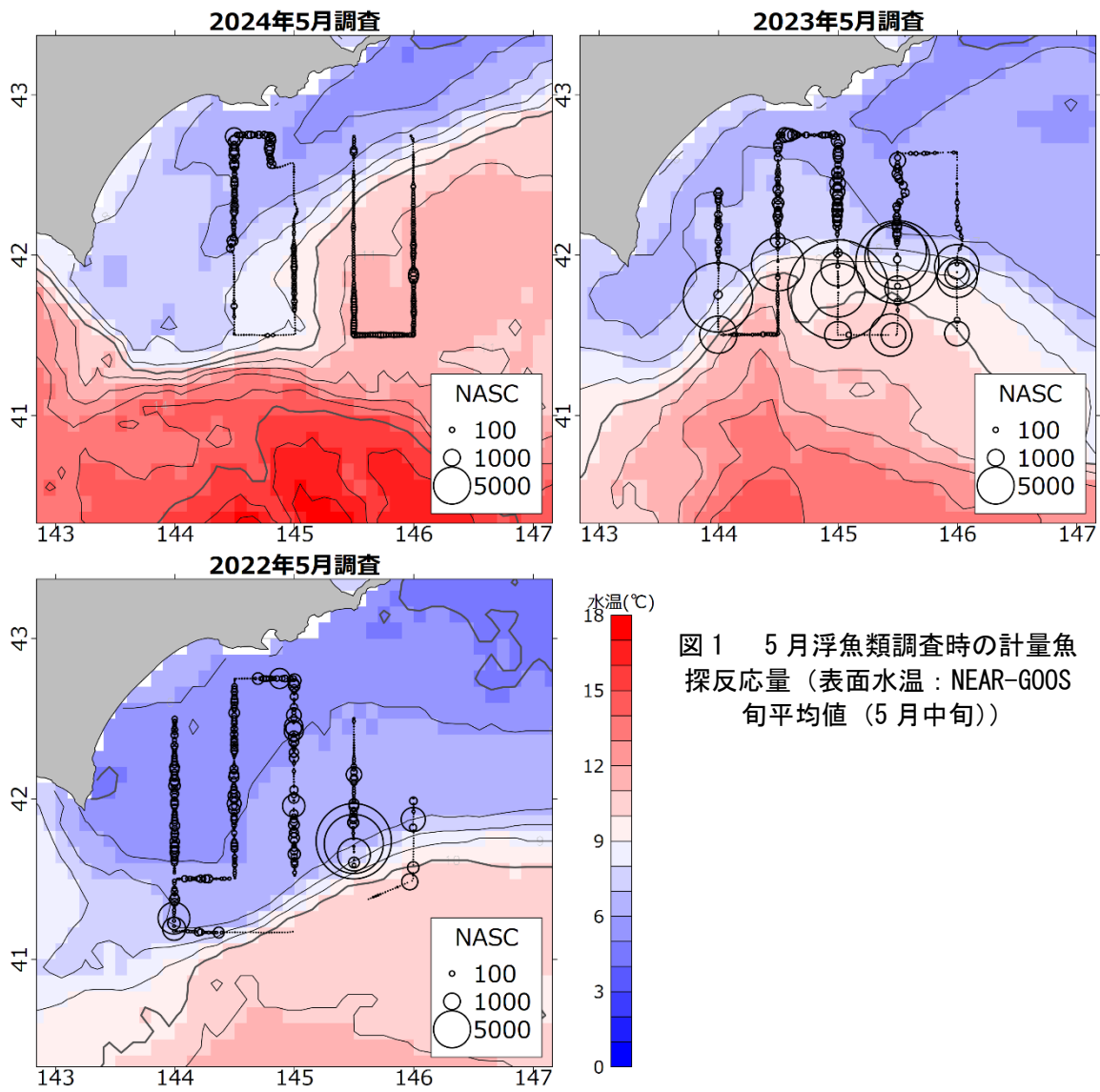


図1 5月浮魚類調査時の計量魚探反応量（表面水温：NEAR-GOOS 旬平均値（5月中旬））

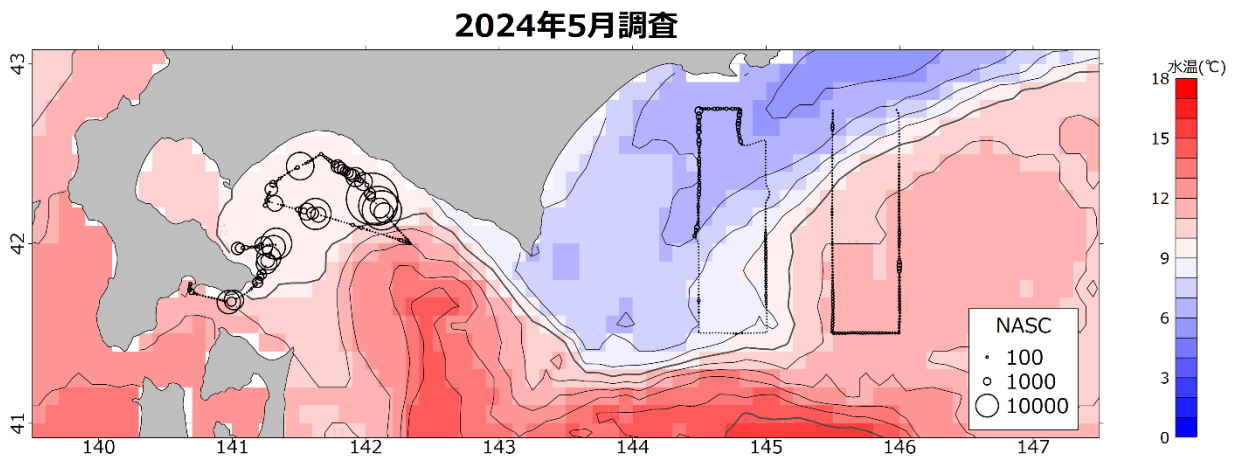


図2 道東および道南の5月調査時の計量魚探反応量。道南海域は函館水産試験場所属の金星丸調査結果。（表面水温：NEAR-GOOS 旬平均値（5月中旬））

北辰丸 海洋観測速報 <https://hro-fish.net/hokushin/>
(釧路水産試験場試験調査船北辰丸の海洋観測結果がご覧になれます。)

お問い合わせ先：釧路水産試験場調査研究部, [TEL:0154-23-6222](tel:0154-23-6222)
[FAX:0154-23-6225](tel:0154-23-6225)